



2020年2月4日

各 位

会社名 株式会社日本触媒
代表者名 代表取締役社長 五嶋 祐治朗
(コード番号 4114 東証第1部)
問合せ先 総務部長 田畑 敦士
(TEL 06-6223-9111)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2019年7月31日に公表した業績予想値を以下のとおり修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 連結業績予想の修正について

2020年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上収益	営業利益	税引前利益	親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	325,000	17,500	21,000	16,000	401.23
今回修正予想値(B)	305,000	11,000	14,500	9,500	238.23
増減額(B-A)	△20,000	△6,500	△6,500	△6,500	
増減率(%)	△6.2	△37.1	△31.0	△40.6	
(ご参考)前期実績値 (2019年3月期)	338,869	26,170	32,119	23,849	598.05

2. 個別業績予想の修正について

2020年3月期 通期個別業績予想数値の修正(2019年4月1日～2020年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想値(A)	217,500	12,600	20,400	16,500	413.77
今回修正予想値(B)	207,500	9,000	17,500	13,500	338.54
増減額(B-A)	△10,000	△3,600	△2,900	△3,000	
増減率(%)	△4.6	△28.6	△14.2	△18.2	
(ご参考)前期実績値 (2019年3月期)	232,222	17,356	26,216	20,371	510.83

3. 修正の理由（連結・個別）

当社は2019年7月31日に、製品海外市況と原料価格水準によりスプレッドが想定より縮小すること、米中貿易摩擦の影響による需要減少により販売数量が減少することなどから、当初の業績予想値を下方修正いたしました。その時点においては、下期以降、販売数量の回復や原料価格の落ち着きによるスプレッドの回復を見込んでおりました。

しかし、第4四半期会計期間においても、米中貿易摩擦などを背景とした需要の落ち込みが継続しております。基礎化学品セグメントにおいては、製品海外市況が引き続き低迷、他方、国産ナフサ等原料価格が上昇傾向にあることなどにより、スプレッドは更に縮小し、販売数量についても、想定した程までは回復しない見込みであります。機能性化学品セグメントにおいても、同様の背景に加え、高吸水性樹脂を中心に競争の激化もありスプレッドは縮小することが見込まれ、また、自動車産業や電子情報材料関連産業向け製品の販売数量の減少などにより減益を余儀なくされる見込みであることなどから、前回発表した通期業績予想値を下方修正するものであります。

(注) 上記の業績予想は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上

(補足情報)

報告セグメント別通期業績予想値

(単位：億円)

	基礎化学品事業		機能性化学品事業		環境・触媒事業		調整額	合計	
	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	売上収益	営業利益	営業利益	売上収益	営業利益
前回発表	1,310	85	1,855	78	85	4	8	3,250	175
今回修正	1,220	60	1,730	37	100	6	7	3,050	110
差異	△90	△25	△125	△41	15	2	△1	△200	△65

(注) セグメント利益の調整額には、セグメント間取引消去、各報告セグメントに配分していない全社損益が含まれております。